

2009/02/09

LEXUS、ミラノデザインウィークでアートエキシビション 「Lexus L-finesse - crystallised wind -」を開催

LEXUSは、本年4月に行われる世界最大のデザインエキシビション「ミラノデザインウィーク」^{*1}において、LEXUSのデザイン・フィロソフィ「L-finesse 先鋭-精妙の美」^{*2}をテーマとしたアートエキシビション「Lexus L-finesse - crystallised wind -」を開催する。

今回のエキシビションでは、新進気鋭の建築家 藤本壮介氏をコラボレーションアーティストに起用し、イタリア・ミラノ市内の美術館「ムゼオ・デッラ・ペルマネンテ」を舞台に、L-finesseの二律双生の考え方を基に、「結晶化した風(crystallised wind)」というコンセプトによって、レクサスの研ぎ澄まされたダイナミズムを、アートとして表現する。

期間中は、LEXUSのスーパースポーツカーコンセプトLF-Aをモチーフとした1/1サイズのオブジェと、空間、音、照明が一体となって完成される、ダイナミックなインスタレーションにより、L-finesseの世界観を表す空間を創造する。

LEXUSは、アーティストと領域を越えて「L-finesse」のメッセージを探求していくことが、既成概念を超えた新しいプレミアムの基準を生み出していくとの考えに基づき、デザインの伝統と先進が交差する場であるミラノデザインウィークにおいて、2005年からアートエキシビションを実施しており、今回が5回目の出展となる。

- *1 世界最大のデザインエキシビション。ミラノ市内の各所で家具メーカーやファッションブランドがブランドの独自性をアピールする様々なイベントを開催。ミラノサローネとも呼ばれる。
- *2 Leading-Edge(先鋭)とFinesse(精妙、深みやエレガントさ、至高の技)を「二律双生」するLEXUSのデザインフィロソフィ。大胆な先進性を極めて表現されるエレガンスのある美しさの創造をめざす。

【開催概要】

- タイトル : 「Lexus L-finesse - crystallised wind -」
- 期間 : 2009年4月22日(水)～26日(日)
※ 4月21日にプレスプレビュー、オープニングレセプションを実施予定
- 場所 : イタリア・ミラノ「ムゼオ・デッラ・ペルマネンテ」
- 空間構成 : 藤本壮介
- 展示作品 : LEXUS LF-Aをモチーフにした1/1サイズのオブジェ
藤本壮介氏によるオブジェ
- 企画・監修 : LEXUS

* 詳細情報につきましてはhttp://lexus.jp/lexus_art/をご覧ください。

【アーティスト・プロフィール】(敬称略)

藤本 壮介

1971年北海道生まれ。東京大学工学部建築学科卒業後、2000年に藤本壮介建築設計事務所を設立。2005年を皮切りに若手建築家の国際的な登竜門であるAR Awardを、特に2006年度最優秀賞を含めて3年連続で受賞し一躍注目を浴び、2008年には同賞の審査委員を務めた。2008年、JIA日本建築大賞とWorld Architectural Festival 個人住宅部門最優秀賞し、Architecture Record 誌「Design Vanguard」に選出される。2009年にはwallpaper*誌のDesign Awards 2009を受賞。2008年に出版された「原初的な未来の建築 Primitive Future」は、2008年の建築書のベストセラーとなった。自然と人工物の狭間にある新しい形と空間を探求する彼の建築はこれから更に進化する事を期待されている。

以上